

んだすな

Ndasuna



石けんから環境を考える

鷹巣安全な石けんを広める会「さぶる」(北秋田市)

もちっこ祭りで手づくり石けんを実演販売しました

平成19年2月15日発行

発行/秋田県生活環境文化部地域活動支援室

〒010 8570 秋田市山王四丁目1 2 TEL018 860 1520

編集/秋田県北NPO支援センター(北部市民活動サポートセンター)

〒017 0841 秋田県大館市字大町57 TEL0186 49 8553

<http://www.akita-kenmin.jp/north-support-center/>

E-mail angec1@io.ocn.ne.jp

2007.FEBRUARY

2

石けんから環境を考える

鷹巣安全な石けんを広める会「さぶる」(北秋田市)

「さぶる」ってなあに？

「さぶる」は、英語の「ソープ」つまり石けんの語源です。

紀元前三千年、古代ローマ時代。神殿の前の土で洗濯をすると泡が出て汚れがよく落ちることを発見した人々は、丘の名をとってその不思議な土を「さぶる」と呼びました。神に捧げるため焼かれた羊から滴り落ちた脂が、焚き火の熱と灰のアルカリの力を借りて原始的な石けんになったのです。

わたしたちは、その話に感動し「さぶる」の名前を借りて、合成化学物質の害から地域の環境や住民の健康を守るため、使い古しの天ぷら油を集めての石けん作りや、小学校や公民館活動での環境教育・地域の環境調査などを通じて啓蒙活動をしています。

石けんと合成洗剤

ところで、皆さんの自宅の台所や洗濯場にはどんな洗剤が並んでいますか。我が家は、粉石けんと固形石け

ん・石けんクレンザーだけ。場所も取らないし経済的にも助かります。

合成洗剤は、天然油脂が不足した第二次世界大戦中にアメリカで、石油を精製した時に出るベンゼンを原料にして開発されました。石油化学工業の廃棄物からいくらかでも安く作ることができ、ヨーロッパやアメリカのカルシウム分を多く含んだ固い水にもよく溶けたので、洗濯機の普及とともにどこの家庭でも当然のように使われ始めました。そしてその頃から、水質汚染・泡公害・手荒れ・オムツかぶれ・アトピーなどの問題も出てきたのです。

今テレビのコマーシャルで宣伝している洗剤のほとんどは、台所用・洗濯用はもちろんのことシャンプーや歯みがき、洗顔フォームも合成洗剤と考えてよいようです。ご家庭にある洗剤の裏についている品質表示を一度確かめてみてください。



平成7年に明日の秋田を創る会「まちづくり賞」受賞



種苗交換会でパネル展示と石けんの販売をしました



会員でそば打ち講習会を行いました



体にも環境にもやさしい料理教室を毎年行っています

「さぶる」の活動

「さぶる」は平成4年2月に旧鷹巣町の婦人学習グループの一つとして誕生しました。今月で満15歳になります。普段の活動のほかに、映画鑑賞会『奇妙な出来事アトピー』、『1周年記念 船瀬俊介講演会』、『5周年記念 西岡一講演会とシンポジウム「北秋田の食を見つめる」』、『10周年記念「センス・オブ・ワンダー ~レイチェル・カーソンの贈り物~」上映会とシンポジウム「水と命を守るために」』など文化会館等でのイベントも行ってきました。また、平成18年には国土交通省東北地方整備局長から河川環境の保全美化に努めたという感謝状をいただいております。

活動の成果

「さぶる」の活動を通じて地域では少しずつ石けんの輪が広がり、「子どものアトピーの赤みが取れた」という若いお母さんや「髪の毛が増えた」「肌のかゆみがよくなった」というお年寄りの声も聞かれるようになりました。また、手作り石けんは汚れ落ちがよいので、野球部の子どもを持

つお母さんや農作業される方の強い味方の方です。

そのまま捨てると水や土壌の汚染につながる廃食油のリサイクルという考え方も広まり、廃食油を集めて届けてくださるご家庭や、大量に廃食油のでる給食センター・仕出屋さんなどでの石けん作りも広がってきています。

今後の取り組み

廃食油と手作り石けんファンのいる限り、今後も石けん作りを続けたいと思っています。気心の知れた仲間が集まっておしゃべりしながらの作業はストレス解消にもなります。

また、学校等での出張環境教育にも力を入れたいと思います。将来ある子どもたちに本当のことを知り、本物を見分ける目を養ってほしいのと共に、子どもたちの説得で環境問題を考えるようになった親たちも多いためです。

(事務局/佐藤美由起)

鷹巣安全な石けんを広める会「さぶる」

会長/柳谷 純子 会員/74名 設立/平成4年
連絡先 TEL 0186 66 2032 FAX 0186 66 2074
ホームページ <http://sapuru.hp.infoseek.co.jp/>



秋田県信用組合鷹巣支店職員のみなさんと石けん作りしました



10周年記念シンポジウム「水と命を守るために」を開催

イベント情報

北秋田市

2 / 2 4(土)

この指と～まれ!「白い風と遊ぼう」

餅つき、昔のあそび、木工あそび、かんじき体験、縄ない体験や雪だるまコンテストを行います。

日時:平成19年2月24日(土) 9:00開始

会場:北秋田市米代児童公園(中央公民館隣接)

対象:どなたでも(幼児から小学3年までは保護者同伴)

参加費:無料(レクリエーション保険料として100円)

主催:あそび体験活動ボランティア

問 森田園(担当/小笠原)TEL.0186 62 2455

鹿角市

2 / 2 4(土)

男女共同参画社会づくり基礎講座

紅茶でほっと♥素敵な贈り物

毎日仕事や家事、育児などに追われ、ゆっくり休むことってなかなか難しいですね!たまにはおいしい紅茶を飲んで、みんなでいろいろ話しながらホッと一息ついてみませんか?どなたでも自由にご参加ください。

日時:平成19年2月24日(土) 10:00～正午

会場:ホテルガーデンかわむら(鹿角市)

内容:斉藤由美さん(日本紅茶協会認定ティーインストラクター)の講演ほか

参加費:400円(託児希望は申込必要)

問 申し込み:鹿角市共同推進課市民共働班
TEL.0186 30 0202

大館市

3 / 3(土)

「親業」セミナー

～パパ、ママ、ぼくのSOSをキャッチして～
愛情と理解の心の架け橋づくりを目的とする
子育てのお話です

日時:平成19年3月3日(土) 10:00～正午

会場:大館市中央公民館

講師:鈴木 聡子さん(親業訓練インストラクター)

参加費:無料

問 申し込み:大館市教育委員会社会教育課
TEL.0186 54 6913

八峰市

3 / 4(日)

「雪灯籠」の冬まつり

雪灯籠の灯りに浮かぶ手這坂集落が幻想的な祭りです。

日時:平成19年3月4日(日)点灯時間18:00

会場:八峰町手這坂(3日(土)4日(日)9:00～16:00まで
雪灯籠作りをしますので参加大歓迎です。)

問 手這坂活用研究会 TEL.0185 76 2279

仙台市

3 / 4(日)

NPOのための広報スキルアップセミナー 伝えるコツを身につけよう

日時:平成19年3月4日(日) 10:00～17:30

会場:エル・パーク仙台5階セミナーホール

講師:角田誠氏(㈱電通コミュニケーション・デザイン・センター
シニア・クリエイティブ・ディレクター)

問(特活)せんだい・みやぎ NPO センター
TEL.022 264 1281

車座会議が開催されました

車座会議は、秋田県が主催で平成17年度から開催され、今年度で2年目になります。地域を構成している地域住民、NPO、行政等の各主体同士がお互いを理解し、話し合いの場を持つとともに地域づくりにおけるそれぞれの役割について考えることを目的に始めました。県北地域では昨年度能代市で行い、今年度は三種町で行いました。

活動する団体が、個々に地域貢献していることが多い状況の中で、いかに横のつながりを深めて活動の幅を広げていけるのか、共感できる仲間が合い協力しながら行う市民活動の楽しさを発見する場です。能代市では、平成19年度には継続して地域課題の解決に向けた内容の研修事業を行うことになりました。三種町では、地域の再生をテーマに開催し、5回の会合の中で政策提言できる段



階まで目指そうと、参加者の皆さんは張り切ってワークショップを行いました。会を重ねるごとに活動団体の方々が、目を輝かせて地域をよくしようという意気込みが感じられました。

(コーディネーター/秋田県北 NPO 支援センター 田畑 薫)

地域を元気に
したいと活躍
している人や
団体紹介！

元気なふるさと秋田づくり 県民運動

秋田県は、今年度から、県民目標「元気なふるさと秋田づくり」の実現に向けて、地域や県民が自主的・主体的に取り組む「県民運動」を展開します。このコーナーでは元気な秋田をつくっていかうと活動している個人や団体、企業をご紹介します。

音楽療法研究会ドルチェ

「音楽療法」あまり耳馴れないかもしれませんが、ご存知ですか？音楽を通して、人の「こころ」と向き合い、音楽の力を借りて、「こころ」を癒したり元気にしたりする療法です。

病院のホスピスケアや精神科などで行われる「心理治療としての音楽療法」から、歌や楽器を楽しんで元気になる「介護予防の音楽療法」まで広範囲にわたって行われています。

私たちの会では現在、老人保健施設、高齢者デイサービス、障害児の音楽療法を定期的に行っています。最近では、児童館や育児サークル、保健センターなどからも声をかけていただくようになりました。

音楽と楽器と、たくさんの人に出会える機会をできるだけ増やしたいと願って活動を続けています。

キーボードなどさまざまな楽器や絵本を車に積んで、どこにでも伺います！みなさんも一緒に楽しんでみませんか？

(代表/音楽療法士 佐藤 美津子 問 TEL.0186 23 4415



小学生と音楽を通して交流しています



毎月サービスセンターに慰問しています



初心者から長年描いている方まで幅広く参加



絵手紙の温かさを小学生にも伝えています

らくがき 楽画喜やサークル

思いおこすと10年ほどになります。絵手紙の講師をしてからあつという間に時間が過ぎてしまい、自分でもびっくりしている今日この頃です。最初は夫がはじめ、それを受け継ぐ形になっています。いつもこれでいいのかなと考えながら、「みなさんが楽しんでできるように」をモットーに、和紙づくりをしたり、福祉弁当に絵手紙を一緒につけて配達をしてもらったりと工夫しています。描く人も受け取る人も喜んでいるのではないかと思います。

現在は大館市、能代市、秋田市、湯沢市、横手市とたくさんの生徒さんが私たちを待ってくださっているのを感じ、絵手紙をやっているいろいろな方とふれあう楽しさを実感しています。これからも全国に心を込めた癒しの絵を広めるために、私も夫と一緒に楽しみながら毎日がんばっていかうと思います。

(代表/富樫トモ子) 問 TEL.0186 42 6007

J A 秋田やまもと女性部

J A 秋田やまもと女性部は、八森、峰浜、八竜、山本、琴丘の5支部で組織されています。自分達がかっこよく輝けるように『J A 女性 かわろう かえよう宣言』のもと、生きていくにはまず食、農業をがんばるにはまず健康にと、今年度からは『粋生き教室』で健康講座と料理講座を楽しんでいます。



女性部員を対象とした『粋生き教室』での漬物講習会

また、私達の女性部が胸を張って言えること、それが食育です。次世代を担う子供達に食の大切さを知って欲しい、それが全部員の思いなのです。《子供達に緑のシャワーを》《食の現場は農業だ》を合言葉に各小中学校給食への食材提供、中学校への出前料理講習などを通じて子供達と一緒に食について勉強しています。その出前講習の先生になるのが各地域の伝統食名人である『グランママシスターズ』の方々です。そば作りやきりたんぼ作り、しょつつる鍋などグランママは大人気です。今、農業情勢は大変厳しくなっています。でも、私たち女性部はそれにはめげずに夢を持ってようがんばりたいと思っています。(代表/伊藤ユウ子 問 TEL 0185 87 4250(ふれあい課 担当/泉 牧子))



琴丘のグランママが琴丘中学校できりたんぼ作りの指導。だしをとるところから鍋になるまで(写真左)
八森地区の4,5代目グランママが八森小学校でささもち作りの指導(写真右)

「光陰矢のごとし」 うたの会 ひとみ

私たちの会は歌を通して、多くの方に明るい笑顔と優しい心を伝えたいと開いています。また、毎週老人福祉施設などにも慰問をしています。

振り返ると、私が21年前車椅子の生活を余儀なくされ、人生に絶望を感じていたのに、今こうして息を吹き返すことができたのは、たくさんの方に支えられ、助けていただいたお陰です。本当に感謝しております。そのとき私を救ってくれた温かく優しい心が活動の原動力となっています。

会には、第2の人生を歩みだした方や口コミで参加された方などさまざまですが、いつも和気あいあいでのほのとした時間が流れています。また、慰問では人生の大先輩の皆様が、つたない私たちの歌に感涙してくださったり、満面の笑みで包んでくださったりで、私たちのほうが元気づけられているのです。歌いに行くのではなく、逆に命をいただいているのだと...。本当にありがたく、心より感謝感謝でいっぱいです。

歌の練習は週4回で、カラオケを利用しています。自由に参加できますので興味のある方はいつでもご連絡ください。歌は心と心をつなぎ癒してくれるものと信じています。これからも一人でも多くの方と至福の時を過ごせるよう精進していきます。ありがとうございます。(代表/畠山ひとみ 問 TEL 090 8925 2571)



練習ではそれぞれの歌をじっくりと聴きあいます

みんなで「ミニかまくら」づくり

2月12日午後5時30分ごろ「道の駅かみこあに」の周りは、たくさんの「ミニかまくら」の幻想的な灯りで包まれました。私たちは公民館とタイアップして「ミニかまくら」を実施してから今年で4回目を迎えました。

ミニかまくらにロウソクを灯すと別世界にいるようです



今から20年くらい前までは小正月(旧暦)の1月1日、神社に集まった子ども達が午前0時に神社を出発し柳の小枝をムチにして、板や空き缶を叩きながら集落を回り、農作物を食い荒らす悪い鳥を追い払うための行事を行っていました。「鳥追いの歌」を歌いながら行う豊作祈願の行事です。

一時期途切れていましたが平成5年ごろから復活し、現在は深夜の行事をやめて午後7時ごろから8時30分ごろには終了しています。暗い夜道を歩いて行う行事であるため、集落の各家々では玄関前に「ミニかまくら」をつくりロウソクを灯して子ども達の足元の安全を確保してくれています。

昔はほとんどの集落でこの行事を行っていたようですが、現在では4集落ほどで続けられています。当日は実施している集落以外の親子にも「ミニかまくら」を数多くつくってもらい、ロウソクを灯してもらっています。

これからも冬の行事として地域の人が集い触れ合えるように継続していきたいと思います。

上小阿仁村ボランティア「みどり」

代表/伊藤 敏夫

☎ 0186 77 2723

「雪害発生時の秋田県除雪支援ボランティアネットワーク」への登録のお願い

「雪害発生時の秋田県除雪支援ボランティアネットワーク」は、「平成18年豪雪」のような雪害発生時に、被災地域への除雪支援を行うボランティアを派遣するため、平常時から県内外の個人、団体をボランティアとして登録し、広域での応援体制を整備するものです。

緊急時の地域を越えた助け合いの活動を広げるために、「雪害発生時の秋田県除雪支援ボランティアネットワーク」への登録をお願いします。詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.akitakenshakyō.or.jp>



☎ 社会福祉法人 秋田県社会福祉協議会
秋田県ボランティアセンター
018 864 2799

第7回全国障害者スポーツ大会

秋田わか杉大会に『ふれあい広場』を設置

わか杉大会に参加する選手団・役員との交流の場を提供し、広く県民に障害者に対する理解と認識を深めてもらいながら、全国から訪れる選手等に秋田県らしさを実感してもらうことを目的とした広場です。ふれあい広場は、おもてなしコーナー(無料飲食)のほか、郷土PR・体験などのコーナーを会場に合わせて設けますので、ぜひご参加ください。

設置期間は、平成19年10月13日(土)~15日(月)です。

県北地域の設置場所及び実施競技(予定)

<能代市> 能代山本スポーツリゾートセンター
アリナス/車椅子バスケットボール

<能代市> 能代市総合体育館/バスケットボール

<三種町> 三種町琴丘総合体育館/バレーボール



地域資源を使ってコミュニティビジネスを始めませんか。

福祉、子育て、環境、交流及び地域振興など、皆様の日常生活に関連する分野での地域課題の解決に向け、地域住民が主体となってビジネス的に取り組む「コミュニティビジネス(CB)」が、皆さんの周りでも展開されています。

そんなCBを始めたいという想いはあるけれど「立ち上げには先立つものが…」とお悩みの皆様を応援するため、ノウハウやアドバイス、物品、施設利用、資金などさまざまな地域資源(人・もの・資金)の情報を提供します。

申込み先・お問い合わせは下記まで。

< 県北地区 > 特定非営利活動法人 秋田県北NPO支援センター 0186 49 8553

< 中央地区 > 特定非営利活動法人 コミュニティビジョン 018 836 5252

< 県南地区 > 特定非営利活動法人 秋田県南NPOセンター 0182 33 7002

< 秋田県 > 地域活動支援室 TEL 018 860 1520

パソコン講座内容のご要望を募集

秋田県市民活動情報ネット普及のためにパソコン講座を3月に開催します。ボランティア・市民活動をされている皆様のご要望を取り入れた講座内容にするために、ご希望の方は下記より内容をお知らせください。(先着10名様に限らせていただきます。詳しい日程は会場の都合によりご希望に添えない場合があります。あらかじめご了承ください。)

ホームページを作成する
イベント情報を掲載する
ブログについて(見る・コメントする)
パソコンのトラブルについて
セキュリティ対策について



問 NPO法人あきたパートナーシップ(担当/代田)

018 829 5804

NPO法人秋田県北NPO支援センター(担当/青柳)

0186 49 8553

助成金情報

三井物産環境基金

2007年度(第1回)助成案件募集

日本国内および海外における下記の地球環境問題の解決に係わる案件で、自己資金の比率が20%以上であるもの。営利目的の環境ビジネスは対象としません。

地球気候変動問題 水産資源の保護・食料確保
表土の保全・森林の保護 エネルギー問題 水資源の保全
生物多様性及び生態系の保全 持続可能な社会構築のための調査とネットワーキング(さまざまな主体との協働)

助成対象団体 NPO法人、公益法人で活動実績が3年以上の団体。

応募締切:平成19年3月2日(金)消印有効)

問 三井物産株式会社 三井物産環境基金事務局
03 3285 7655

http://www.mitsui.co.jp/csr/fund/1176302_1074.html

ぶらっと!CSRバンク「ぶらっと!賞」スローネット株式会社

日本国内における、まちづくりなど地域に根ざした活動に対して支援されるもので、地域で貢献活動を行なっているNP(非営利団体)や市民団体が対象(個人は対象外)です。応募を希望する団体は、まず、サイト上で会員登録(無料)を行い、コミュニティブログで、団体の活動を紹介、アピールするため、団体の情報を入力する必要があります。内容:日本国内における、まちづくりなど地域に根ざした活動に対して支援

応援金額:ぶらっと大賞50万円(1団体)ぶらっと賞20万円(15団体を限度)

応募締切:平成19年3月31日(土)

問 ぶらっと!サポートセンター 075 254 3837

http://www.burat.jp/article.200612200927_1000322

若者の自立支援マップ完成！ 希望者に無料提供

秋田県では、若者の自立に必要な支援や情報を掲載した『若者の自立支援マップ』を作成しました。県北、中央、県南に分けて各地区の相談窓口、医療や教育、就労、体験活動などの支援機関や団体を紹介しています。さまざまな悩みを抱え、自立への一歩を踏み出せない若者やその家族などに広く活用を促しています。

ご希望の方は下記まで。

<県北地区> 特定非営利活動法人 秋田県北NPO支援センター 0186 49 8553

<中央地区> 特定非営利活動法人 不登校を考える親の会あきた 018 868 3854

<県南地区> 特定非営利活動法人 秋田県南NPOセンター 0182 33 7002

<秋田県> 県民文化政策課青少年育成班
018 860 3891



「秋田県地球温暖化対策地域推進計画」 (案)についての意見募集

平成17年2月に「京都議定書」が発効し、同年4月に「京都議定書目標達成計画」が閣議決定されました。このため、平成11年3月に策定した「温暖化対策 美の国あきた計画」を見直し、新たに「地球温暖化対策地域推進計画」を策定することとしました。

つきましては、「秋田県地球温暖化対策地域推進計画(案)」について、次のとおり、県民の皆様からのご意見を募集します。

☎ 秋田県生活環境文化環境あきた創造課

018 860 1574 FAX 018 860 3881

詳しくはホームページ「美の国あきた」をご覧ください。

「幸せの黄色いレシートキャンペーン」 ボランティア団体等募集中

このキャンペーンは、「イオン・デー（毎月11日に開催）」に、お客様がレジ精算時に受け取った黄色いレシートを、地域のボランティア団体名が書かれた店内備

え付けのBOXへ投函していただき、レシートのお買い上げ金額合計の1%をイオンがそれぞれの団体の活動に役立つような物品をもって助成するものです。

詳しくはお近くのイオン株式会社にご確認いただくかホームページをご覧ください。

<http://www.aeon.info/environment/aeonday/>

平成19年度 TaKaRa ハーモニスト ファンド助成事業

日本の緑を構成する森林、木竹等の陸域の自然環境、または湖沼、河川等の水域の自然環境（水生生物の生態把握等も含む）に関する実践的な研究・活動に対し、助成が行われるものです。対象は、具体的に着手の段階にある、営利を目的としない研究・活動で、主体となる個人・任意団体の資格は問われませんが、一定の条件を満たす必要があります。

助成額：総額500万円程度（10件程度）

応募締切：平成19年3月31日（土）

☎ 公益信託 TaKaRa ハーモニストファンド事務局 担当 / 森田、河田

075 211 6231 FAX 075 212 4915

<http://www.takarashuzo.co.jp/environment/fund/fund-yoko.htm>

カメイ社会教育振興財団 平成19年度助成募集

青少年の社会教育活動に対する助成

対象：社会教育団体、または青少年を対象とする団体が行う青少年の健全育成のための社会教育活動、またはこれを促進するための事業

助成額：1件当たり100万円以内 8件（予定）

応募締切：平成19年3月31日（土）

社会教育等生涯学習の振興に関する活動に対する助成

対象：団体等が行う芸術・文化及び教育活動について、地域における社会教育活動またはこれを促進するための事業で、東北六県で地域に密着した活動を対象

助成額：1件当たり50万円程度 3件（予定）

応募締切：平成19年3月31日（土）

☎ 財団法人 カメイ社会教育振興財団（担当 / 小山 浩）

022 264 6543 FAX 022 264 6544

<http://www.kamei.co.jp/museum/>

ボランティア・NPOのよもやま話

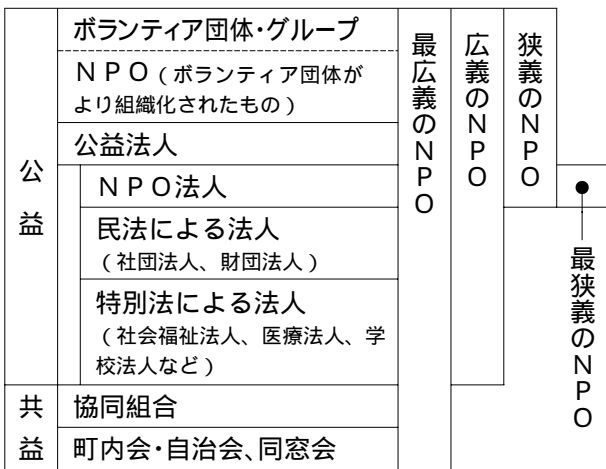
NPOに関わる3人の会話を通して、疑問や質問にお答えします。

登場人物
 ハジメ (ボランティア活動未経験)
 エヌコ (NPO 法人勤務 2年)
 リジオ (NPO 法人理事)
 * * * * *

「どこまでがNPO?!」

ハジメ 町内会でもNPOと同じような活動をしていることがあります。町内会もNPOなんですか？

エヌコ 私もよく疑問に思っていました。そこで秋田県で示している<NPOの概念図>を見てください。



この「んだすな」では、狭義のNPOの活動をご紹介しますが、元気なふるさと秋田づくり県民運動のページでは最広義のNPOから企業の社会貢献活動にも目を向けてご紹介しているんですよ。

リジオ 町内会などとNPOについてもう少し詳しく話すことにしよう。例えば清掃活動一つをとっても、町内会な

どの地縁組織が町内の人のためにゴミステーションを作ったり、清掃・維持したりすることは「共益」活動であるといえるし、町内以外の人でも利用する駅舎周辺や公園、河川敷などを清掃する場合には「不特定多数の利益のために行う活動」として「公益性」が見られるよ。

エヌコ 地縁型団体の共益の活動でも活動内容によっては、最広義のNPOですね。

ハジメ NPO法人とそのほかの法人は何が違うのですか？

リジオ 非営利である社会貢献活動を行う団体(社団法人、社会福祉法人など)は、厳しい条件を満たさないと法人格を持つことができないんだ。しかし、NPO法¹ができて、比較的簡単に法人格を持つことができるようになったんだ。

ハジメ なぜ法人格を取りやすくなったのですか？

エヌコ 任意団体が活動していく上で支障が出る場合があります。そこで書類上の審査のみで法人格を取得できるようにしたことで活動の幅が広がっていきます。

リジオ つまり、市民が行う社会貢献活動の発展を促進し、公益の増進に寄与することにつながるわけだよ。

ハジメ そうなんですか。ではNPO法で定める特定非営利活動の分野にはどんなものがあるんですか？

エヌコ 環境の保全やまちづくりの推進、男女共同参画社会の形成の促進など17分野²もあります。

リジオ NPO法は他の法律と違って、分野に含まれる活動の範囲を限定せずに各団体の自主的な選択に任せているため、より活動の促進が図れるんだ。

ハジメ 団体によりさまざまな活動が可能なのですね。

* * * * *

- 1 正式な名前は「特定非営利活動促進法」(1998年12月1日施行)といい、NPO法人として最低限必要な約束ごとが定められている。
- 2 詳しいは秋田県地域活動支援室または北部市民活動サポートセンターにお問い合わせください。

登録して情報発信しませんか！

秋田県市民活動情報ネット

<http://www.akita-kenmin.jp/npo/index2.asp>
 秋田県のボランティアや市民活動に関する情報や話題が満載。登録していただくと団体のプロフィールや目的、事業などを紹介できます。

<編集後記> NPOの入った団体名の表現は、そこが法人格を取っているかわからないことがあります。情報収集している際に『(特活)』と表現している団体があり、わかりやすいなどと感心しましたが、その後『(特非)』と表現する団体もあると聞き困惑しています。

北部市民活動サポートセンターは秋田県から委託を受けて、特定非営利活動法人秋田県北NPO支援センターが運営しています。

北部市民活動サポートセンター(北部男女共同参画センター内)

情報をお待ちしています
 県北のボランティア・NPO活動の情報をどんどん紹介します。電話やファックス、メールで情報をお寄せください。活動の輪を広げましょう。
 また、北部男女共同参画センターでは、貸室(研修室・グループ活動室)、本・ビデオの貸出、交流サロン、ロッカー、印刷機・コピー機の利用ができます。

〒017 0841
 秋田県大館市字大町57
 TEL 0186 49 8553
 FAX 0186 49 8589
<http://www.akita-kenmin.jp/north-support-center/>
 E-mail angec1@io.ocn.ne.jp

